

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要									
事業開始年度				S46～		根拠法令・例規等			
総合計画	大項目	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり					
	中項目	基本施策	03	個性あふれる観光のまちづくり					
	小項目	施策	01	観光					
事務事業名				01	観光推進事業		問合先	担当課（室）	商工観光課
							職・氏名	観光係長 山台 智子	
							電 話	64-1832	

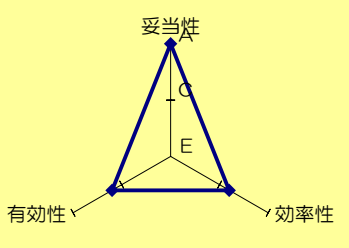
事業の実施	
対 象 （誰・何に対して）	観光事業者、観光客
目 的 （何のために）	観光案内サービスの向上、観光PR活動の推進により、市への来訪者数を増加させ、市の活性化を図る。また、観光動態調査については、観光客の動向を調査することにより諸施策への指針として利用するため。
行政活動 （どのような方法で）	観光動態調査、観光宣伝事業（宣伝広告、観光物産展など）、パンフレット作成配布、観光写真掲出事業、観光看板設置等
事業の意図する成果 （どのような状態にしたいのか）	観光客数の増加

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	観光客数(市内観光施設、商工観光課調べ)		人	787,221	782,174	960,346
	観光客動態調査(県)		人	751,000	765,000	849,000
事業費実績	直 接 事 業 費	千円		8,256	1,549	928
	必要人員 人件費		0.75人	5,814	0.70人	4,222
	事業費計			14,070	5,771	5,224
	国 県 支 出 金	千円		176	176	176
	受 益 者 負 担					
	繰 入 金 債					
	市 債					
	そ の 他 ( )					
	一 般 財 源			13,894	5,595	5,048
結果指標	受 益 者 負 担 比 率	%				
	結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	観光客数		説明			
	結 果 指 標 量	人		787,221	782,174	960,346
	対 前 年 比	%		—	99.4%	122.8%
	活 動 コ ス ト	円		14,070,000	5,771,000	5,224,000
	単 位 当 たり コ ス ト			18	7	5
結果指標②			説明			
	結 果 指 標 量	—				
	対 前 年 比	%				
	活 動 コ ス ト	円				
結果指標②	単 位 当 たり コ ス ト					

事業の成果						
成果指標名		年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
観光客数	目標値 (A)		1,000,000	1,000,000	1,000,000	100万人
	実績値 (B)		787,221	782,174	960,346	到達目標年度
	達成率 (B/A)		78.72%	78.22%	96.03%	平成22年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
市調査及び観光動態調査による観光客数						

事務事業の評価				(平成20年度事業)	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価＜A～E＞	A
			<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明 観光推進により市内が活性化することを市民・団体等は望んでいる。	判定理由・課題認識	
効率性の評価	市民ニーズ	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価＜A～E＞	C
			<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識	
有効性の評価	目的達成度	市民参画度		有効性評価＜A～E＞	C
				判定理由・課題認識	
				NPO、ボランティア団体等との協働により観光振興に努めるとともに、広域観光の発展につなげるよう検討する必要がある。	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	100万人		結果指標量②	成果指標量	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
	○					
説明	観光PRに努めるとともに、各種調査により観光客増加の方策を見出そうとしている。平成20年度秋以降、エリアによっては、冷えこんだ景気の影響を大きく受けており厳しい状況にある。しかし、ETC車対象の高速料金大幅割引など、観光面にとって明るい材料もあることから更なる誘客に努める必要がある。					

総合評価		
観光産業は市の基幹産業であり、市の活性化のためにも今後とも力を入れていく必要がある。	評価区分 ＜A～E＞	
	C	

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
	○					
説明	インターネットの重要性をさらに認識して、積極的に各サイトにPRの掲載をする必要がある。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果	
	効率性	各メディアの活用や広域連携によるPRとともにインターネットの有効活用をに努める		随時	効率的に効果的なPRの実践	